PS-D220　アナウンスプロセッサー

お客様ご相談センター
東　京
☎ (03)5684-9311［代表］
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル
大　阪
☎ (06)6765-4161［代表］
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

日本ビクター株式会社
プロシステム事業部
〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　電話（0426）60-7243［ダイヤルイン］

© 1999 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

SS961250-002

Victor

取扱説明書

アナウンスプロセッサー

型名 PS-D220

VOSS

Victor Original Sound System の略で、プロオーディオ機器の登録商標です。

－お買い上げありがとうございます－

ご使用の前にこの**「取扱説明書」**と**「安全上のご注意」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、本機のリアパネルに製造番号が正しく記されているか、また、その製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

私たちは環境・資源を大切にしています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙（古紙100%）を使用しています。

はじめに
基本操作
応用操作
接続のしかた
主な仕様
こんなときは

SS961250-002

このたびは
アナウンスプロセッサー
PS-D220を
お買いあげいただき
ありがとうございます

本機の特長

- 小さな音声や過大な音声を適正な音量にし、聞きやすい拡声システムにできます。
- マイク系統に必要な8つの機能をEIA 1Hサイズに集約しました。
- エキサイター機能により明瞭な拡声ができます。
- 24BITデジタルフローティング方式のADコンバータと、20BIT DAコンバータの採用によりクリアーな音質を実現しました。
- 4つのプリセットメモリーをもち、選択するだけで、すぐに運用ができます。
- 16の設定を記憶することができます。さらにパターンコントロール端子を外部から制御することでダイレクトに呼び出せます。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容が示されています。

⃠記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が示されています。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、又はブレーカーを切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜くこと

⚠警告

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しは火災や感電の原因となりますので、おやめください。
- セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。

分解禁止

- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。ラックに組込むときには、本機を2台設置したら上下1H以上のスペースをとるようにしてください。
- 本機は日本国内専用です。
必ず商用電源AC100V 50/60Hzでご使用ください。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを電源コードを引っぱらずに、かならずプラグを持って抜いてください。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。
- 傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。
- キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落し、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジン、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤（かそざい）の働きにより変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

ご使用になる前に

- 通常の拡声のときには、基本操作までの項目をよく読んでお使いください。
- 使用環境により、十分な効果を発揮できない場合には、応用操作の項目を読み、設定をおこなってください。

目　次

はじめに
- *本機の特長*…… 2
- *安全上のご注意*…… 2
- *ご使用になる前に*…… 3
- *フロントパネルの名称と働き*…… 4
- *リアパネルの名称と働き*…… 5

基本操作
- *基本操作*
  - 操作のしかた …… 6

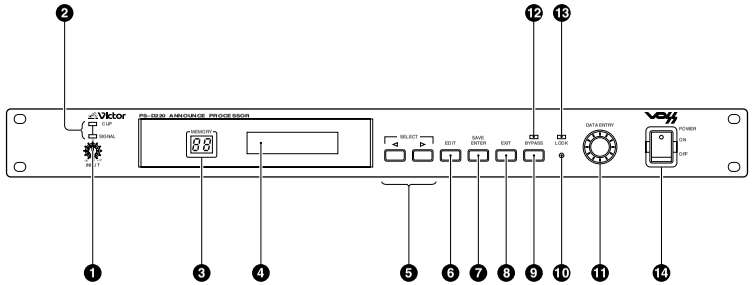
応用操作
- *応用操作*
  - プリセットメモリーについて …… 6
  - ユーザーメモリーの呼び出しかた …… 7
  - 保存のしかた …… 7
  - エディットのしかた …… 8
  - タイトル入力のしかた…… 9
  - LCDバックライト選択のしかた …… 9
  - プリセットメモリーの呼び出しのしかた …… 10
  - ロック機能の使い方 …… 11
  - バイパスのしかた…… 11
  - 自動設定のしかた…… 12
- *セッティングの際のご注意* …… 13

接続のしかた
- *接続のしかた* …… 14
- *接続ケーブルについて* …… 14
- *パターンコントロール端子について*…… 15

主な仕様
- *仕様* …… 16
- *ブロックダイヤグラム* …… 17
- *外観寸法図* …… 17

こんなときには
- *故障かな？と思ったら* …… 18
- *保証とアフターサービス* …… 19

フロントパネルの名称と働き



❶「INPUT」入力レベル調整ツマミ
入力レベルを調整します。可変範囲は、+17dB～－∞dBです。CLIP LED（赤）が点灯しない範囲でご使用ください。SIGNAL LED（緑）が時々点灯する最適レベルになるように入力機器（ミキサー等）のボリュームを調節してください。

❷ レベルメータ
入力端子の入力信号レベルを表示します。CLIP LED（赤）は、＋18dBs入力時に、またSIGNAL LED（緑）は、-10dBs入力時に点灯します。
CLIP LED（赤）が点灯するときは、入力信号が過大であることを意味しますので ❶ の入力レベル調節ツマミで調整してください。"0"の位置が標準です。

❸「MEMORY」メモリーナンバーディスプレイ
現在呼び出されているメモリーナンバーを表示します。

❹「LCD」ディスプレイ
各機能の設定値、タイトル等を表示します。

❺「SELECT ◀▶」キー
エディット項目等を選択する際に使用します。

❻「EDIT」キー
各機能のパラメータをエディットする際に使用します。

❼「SAVE/ENTER」キー
各項目の決定を行う際、またセーブを行う際に使用します。

ご注意
設定の際に接点間でエンコーダを止めると、誤動作の原因となる場合があります。
かならず確実に接点でエンコーダを止めるようにしてください。

❽「EXIT」キー
エディット画面などから抜けでる際に使用します。

❾「BYPASS」キー
バイパス状態にする場合に使用します。※解除する際は、もう一度「BYPASS」キーを押してください。

❿「LOCK」スイッチ
フロントパネルの全操作キーの誤操作を防止することができます。LOCK表示下の穴へ細いピンなどにより、LOCKスイッチを押します。
LOCKには、ALL LOCK（フロントパネルの全操作キーの受け付けを禁止）と、EDIT LOCK（EDITの設定を禁止）の2種類があります。
LOCKスイッチを押すことで
→カイジョ → ALL → EDIT → の順に変化します。

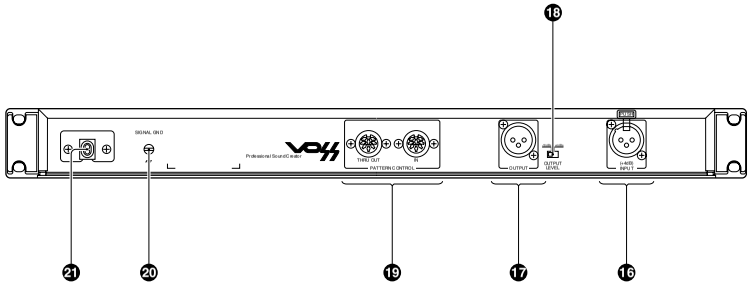
⓫「DATA ENTRY」エンコーダー
メモリの選択や、各パラメータのデータを設定する時に使用します。

⓬「BYPASS」 LED
バイパス状態の時に点灯します。

⓭「LOCK」 LED
ロック状態の時に点灯します。

⓮「POWER」電源スイッチ
スイッチをONにした直後の数秒間は、電源投入時のノイズを避けるため、出力信号がミュート（無音）されます。
※メモリーバックアップにより
電源を切る前の状態を保存します。
※本機は電源を切った状態で、約3ヵ月間メモリーバツクアップのデータを保持しています。

リアパネルの名称と働き



⓰「INPUT」入力端子
+4dBs/10kΩ電子平衡（XLR-3-31相当）

⓱「OUTPUT」出力端子
+4dBsまたは-10dBs/適合負荷インピーダンス600Ω以上
電子平衡（XLR-3-32相当）

⓲「LEVEL」切換スイッチ
出力レベルを+4dBs出力と-10dBs出力とに切換えます。

⓳「PATTERN CONTROL」端子
外部よりパターンコントロールしたいとき、任意のメモリーナンバーを呼び出すための端子です。（DIN-8P）

⓴「SIGNAL GND」端子
接続する機器のシグナルグランド接続します。
安全アースではありません。

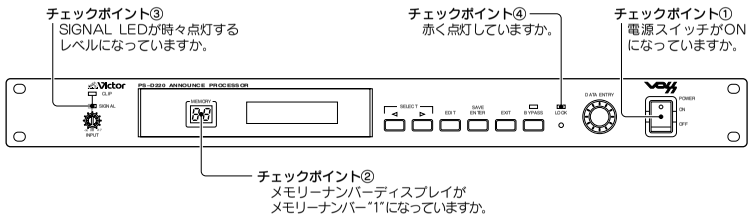
㉑ 電源コード
本機はAC100V 50/60Hzのコンセントに差し込んでお使いください。

基本操作

操作のしかた

下記の手順でお使いください。

※ご使用の際には、下図のチェックポイントをご確認の上、お使いください。



1. 電源スイッチをONにします。
2. MEMORY表示が"1"になります。
3. 使用時にSIGNAL LED(緑)が時々点灯するレベルでお使いください。
4. ご使用にならない場合には、電源スイッチをOFFにします。

※工場出荷時は、スタンダード(ナンバー1)となっております。通常は、この設定(スタンダード)でお使いください。

ナンバー	プリセット	説　　明
1	スタンダード	小さい声をボリュームアップし、耳ざわりな大きな音をレベルダウンして聴きやすい音量にする設定です。 通常はこのプリセットでお使いください。

応用操作

本機は、工場出荷時にLOCK状態になっています。応用操作(各種設定)をおこなう時には、まず最初にロック状態を解除してから操作をおこなってください。(11ページ参照)

プリセットメモリーについて

使用環境に合わせてスタンダード(ナンバー1)以外の設定が選べる様になっておりますので、下の表を参考にしてプリセットナンバーを選んでください。工場出荷時はメモリーナンバー1～4にプリセットナンバー1～4が記憶されています。

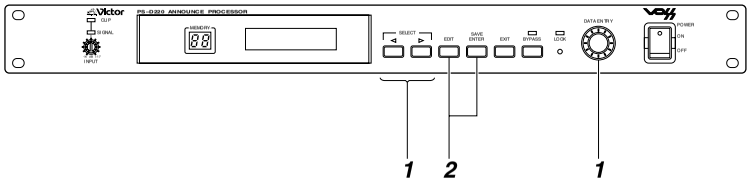
ナンバー	プリセット	説　　明
2	パーラー	周囲の騒音が大きい環境で、明瞭な拡声を行なう場合にお使いください。 この設定はスタンダードに比べノイズゲートを強く効かせ、エキサイターの効果によってメリハリをつけた設定です。
3	ホール	声にメリハリをつけず自然な拡声をおこなうときにこの設定でお使いください。 この設定はスタンダードからエキサイターの効果を除いた設定です。
4	バイパス	ユーザーメモリーをバイパス状態に変更するときには、この設定をお使いください。

※プリセットメモリーの呼び出しかたは、10ページをご覧ください。

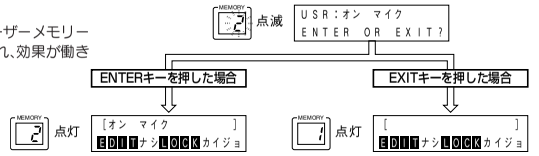
応用操作 (ユーザーメモリー呼び出し、保存)

ユーザーメモリーの呼び出しかた

ユーザーメモリーを呼び出すときにつかいます。



1. SELECTキーを押すか、または、DATA ENTRYエンコーダーを回転させるとMEMORY番号が点滅し、指定したユーザーメモリーのタイトルがディスプレイに表示されます。
2. SAVE/ENTERキーを押すと、指定したユーザーメモリーのデータが、実行用のメモリーに呼び出され、効果が働きます。

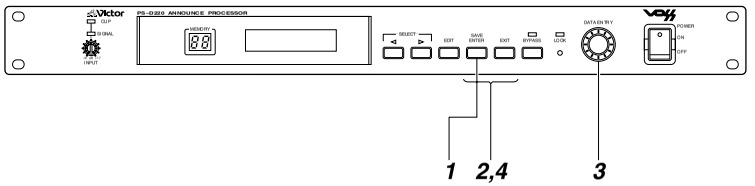


EXITキーを押すと、ユーザーメモリーの呼び出しをキャンセルし、メモリーチェンジを行う前の状態にもどります。

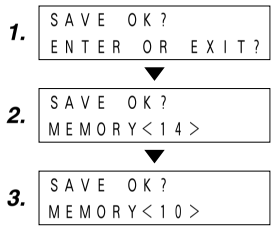
MEMO メモリーに記憶している設定と、実行している設定が異なっている場合は、ディスプレイ内のEDIT表示が「アリ」になります。この表示をチェックすることで、変更したかどうかを確認することができます。

保存のしかた

設定値をメモリーに保存するときにつかいます。LOCKスイッチがALL LOCK又は、EDIT LOCKの際は、設定値を保護するために保存できないようになっています。

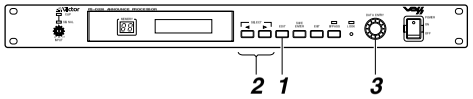


1. SAVE/ENTERキーを押すと、セーブ画面に切り換わります。
2. SAVE/ENTERキーを押すと、メモリーナンバーの選択画面になります。
   ※EXITキーを押すとセーブ画面から抜けます。
3. DATA ENTRYエンコーダーでメモリーナンバーを指定します。
4. SAVE/ENTERキーを押すとセーブが実行されます。
   ※EXITキーを押すとセーブは実行されません。



エディットのしかた

8つの機能を使い、こまかい音調整をおこなうときに使います。



1. EDITキーを押すと、エディット画面になります。

2. SELECT ◀▶ キーで、エディットしたい機能を選択します。

1.
```
EDIT:EXP  TH?
       <  -32dB>
```
▼

2.
```
EDIT:EXP  ATK?
       <    1ms  >
```

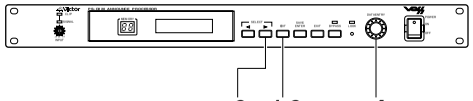
	機　能	設定範囲		機　能	設定範囲
エキスパンダー系	EXP TH (エキスパンダースレッショルドレベル)	-42～-22dB OFF	エキサイター系	EXCIT FREQ (エキサイターHPFのカットオフ周波数)	500Hz～16kHz
	EXP ATK (エキスパンダーアタックタイム)	0,1,2,4,8,16, 32,ms		EXCIT EH.L (エキサイター生成する倍音信号の割合)	0～100%
	EXP RLS (エキスパンダーリリースタイム)	0,50,100,200,300, 400,500,600,700, 800ms		EXCIT MIX (エキサイター倍音信号と直接音をミックスするときの倍音信号の割合)	0～100%
	EXP GAIN (エキスパンダーゲイン)	0～12dB	ゲイン系	OUT GAIN (出力ゲイン)	-15dB～+15dB
コンプレッサー系	COMP TH (コンプレッサースレッショルドレベル)	-22～+4dB OFF	パラメトリックイコライザー系	PEQ1 F (パラメトリックイコライザー1 中心周波数)	40Hz～16kHz
	COMP RATIO (コンプレッサーレシオ)	2:1,4:1,6:1		PEQ1 G (パラメトリックイコライザー1 ゲイン)	-15dB～+15dB
	COMP ATK (コンプレッサーアタックタイム)	0,1,2,4,8,16, 32ms		PEQ1 Q (パラメトリックイコライザー1の鋭さ)	3,4.5,6,12
	COMP RLS (コンプレッサーリリースタイム)	0,50,100,200, 400,800,2000ms		PEQ2 F (パラメトリックイコライザー2 中心周波数)	40Hz～16kHz
	S.EQ FREQ (コンプレッサー,サイドチェーン,イコライザー中心周波数)	40Hz～16kHz		PEQ2 G (パラメトリックイコライザー2 ゲイン)	-15dB～+15dB
	S.EQ.G (コンプレッサー,サイドチェーン,イコライザーゲイン)	-15dB～+15dB		PEQ2 Q (パラメトリックイコライザー2の鋭さ)	3,4.5,6,12
	S.EQ.Q (コンプレッサー,サイドチェーン,イコライザの鋭さ)	3,4.5,6,12		PEQ3 F (パラメトリックイコライザー3 中心周波数)	40Hz～16kHz
フィルター系	LPF (ローパスフィルター)	1k～16kHz THRU		PEQ3 G (パラメトリックイコライザー3 ゲイン)	-15dB～+15dB
	HPF (ハイパスフィルター)	THRU 32～1kHz		PEQ3 Q (パラメトリックイコライザー3の鋭さ)	3,4.5,6,12
ゲート系	GATE (ノイズゲートレベル)	OFF, -75～-40dB	ユーティリティ系	TITLE (タイトル入力)	9ページ参照
リミッター系	LIMIT. LVL (リミッターレベル)	+4～+18dB, OFF		LCD LIGHT (ディスプレイバックライトの設定)	9ページ参照
				CALL PRESET (プリセットメモリーを呼び出すときに使います)	10ページ参照

※エキスパンダー、コンプレッサーのスレッショルドレベルがOFFの設定の場合には、エキスパンダー(EXP)、コンプレッサー(COMP)のすべての設定がOFF表示になり、設定できなくなります。

3. DATA ENTRYエンコーダを回し設定します。他の機能を設定するときは**2**の手順にもどります。
※エディットを終了する場合はEXITキーを押します。

タイトル入力のしかた

タイトルを入力する時に使います。



1. EDITキーを押すと、エディット画面になります。

2. SELECT▶キーをタイトル入力画面になるまで押します。

3. EDITキーを押し、エディットしたい文字のところまでカーソルを移動させます。

4. DATA ENTRYエンコーダーを回すと文字が変わります。
※タイトル入力を終了する場合はEXITキーを押します。
※タイトルは最大14文字まで入力できます。

1.
```
EDIT:EXP  TH?
       <  -32dB>
```
▼

2.
```
EDIT:TITLE?
[スタンダード          ]
```
▼

3.
```
EDIT:TITLE?
[スタンダード_         ]
```
▼

4.
```
EDIT:TITLE?
[スタンダード1         ]
```

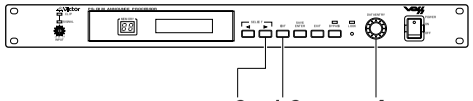
● タイトル表示の文字一覧

	0	@	P	“	p	〒	市		ー	タ	ミ
!	1	A	Q	a	q	一	区	。	ア	チ	ム
”	2	B	R	b	r	二	丁	「	イ	ツ	メ
#	3	C	S	c	s	三	目	」	ウ	テ	モ
$	4	D	T	d	t	四	大	、	エ	ト	ヤ
%	5	E	U	e	u	五	中	・	オ	ナ	ユ
&	6	F	V	f	v	六	小	ヲ	カ	ニ	ヨ
’	7	G	W	g	w	七	上	ァ	キ	ヌ	ラ
)	8	H	X	h	x	八	下	ィ	ク	ネ	リ
(	9	I	Y	i	y	九	左	ゥ	ケ	ノ	ル
*	:	J	Z	j	z	十	右	ェ	コ	ハ	レ
+	;	K	[	k	|	百	火	ォ	サ	ヒ	ロ
,	<	L	¥	l	|	生	水	ャ	シ	フ	ワ
—	=	M	]	m	|	年	木	ュ	ス	ヘ	ン
.	>	N	^	n	→	月	金	ョ	セ	ホ	゛
／	?	O	_	o	←	日	土	ッ	ソ	マ	゜

※表示される文字一覧のならびは、実際に選択する順番と異なる場合があります。

LCDバックライト選択のしかた

LCDのバックライトの設定を変えるときに使います。



1. EDITキーを押すと、エディット画面になります。

2. SELECT▶キーをLCDバックライト選択画面になるまで押します。

3. DATA ENTRYエンコーダーで、ONとAUTOを選択します。
(ON …… LCDバックライトは常時点灯します。
AUTO … 一定時間でLCDバックライトが消えます。)

※LCDバックライト選択のパラメーターは、ユーザーメモリーにはセーブされません。
※LCDバックライト選択を終了する場合はEXITキーを押します。
※LCDバックライトが消えている場合には一回目のキー入力でLCDバックライトが点灯し、操作可能な状態になります。

1.
```
EDIT:EXP  TH?
       <  -32dB>
```
▼

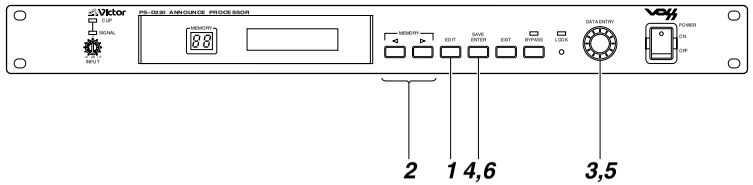
2.
```
EDIT:LCD  LIGHT?
       <ON>  AUTO
```
▼

3.
```
EDIT:LCD  LIGHT?
       ON  <AUTO>
```

応用操作（プリセットメモリーの呼び出し）

プリセットメモリーの呼び出しのしかた

ユーザーメモリーの設定をプリセットメモリーの設定に変更するときに使います。



1. EDITキーを押すとエディット画面になります。

2. SELECT ▶ キーをプリセットメモリー呼び出し画面になるまで押します。

3. DATAエンコーダでカーソルをYES側に合わせます。

4. SAVE/ENTERキーを押すと、メモリーナンバーの選択画面になります。
下段には、タイトルが表示されます。

5. DATA ENTRYエンコーダーで呼び出すプリセットメモリーを選択します。

6. SAVE/ENTERキーを押すとプリセットメモリーが呼び出されます。
※プリセットメモリーの呼び出しを設定中に中止する場合は、EXITキーを押します。

1.
```
EDIT:EXP  TH?
      <  -32dB>
```

2.
```
CALL  PRESET?
      YES <NO>
```

3.
```
CALL  PRESET?
     <YES> NO
```

4.
```
NUMBER?<1>
<スタンダード      >
```

5.
```
NUMBER?<1>
<スタンダード      >
```

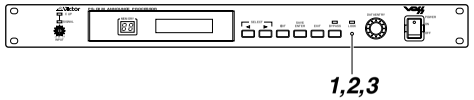
ご注意

- プリセットメモリーは、現在エディットをしているメモリーに書き換わりますので、あらかじめプリセットメモリーを呼び出したいメモリーに変更して呼び出してください。
- プリセットメモリーの呼び出しを行なった後、7ページのセーブの手順に従ってセーブして下さい。

応用操作

ロック機能のつかいかた

誤操作により設定値が変更できないよう防止します。



1. LOCKスイッチを押すと、LOCK LEDが点灯し、オールロック設定になります。（フロントパネルの全操作キーの受け付けを禁止）

2. 再びLOCKスイッチを押すと、LOCK LEDは点灯したままエディットロック設定になります。（EDITの設定ができません。）
又、このときセーブすることができなくなります。

3. もう一度LOCKスイッチを押すと、LOCK LEDが消灯しロック設定を解除します。
※EDIT画面中からロック設定にする場合にはEXITしてからLOCKスイッチを押してください。
（EDIT画面では、オールロックとエディットロックの表示がされません。）

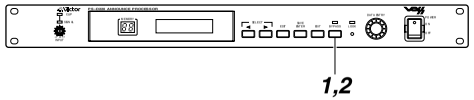
```
[スタンダード      ]
EDITナシLOCKALL
```
バックライト消灯

```
[スタンダード      ]
EDITナシLOCKEDIT
```
バックライト点灯

```
[スタンダード      ]
EDITナシLOCKカイジョ
```
バックライト点灯

バイパスのしかた

設定の効果を確認するときに使います。又は、効果を解除したい場合に使います。



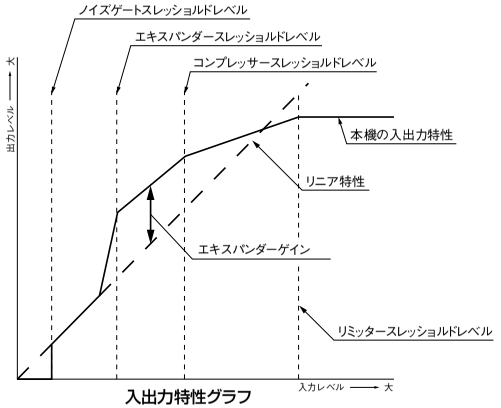
1. BYPASSキーを押すと、BYPASS LEDが点灯しバイパス状態になります。

2. もう一度BYPASSキーを押すと、BYPASS LEDが消灯し、バイパス状態を解除します。

```
=BYPASS=
      >>
```

```
[スタンダード      ]
EDITナシLOCKカイジョ
```

MEMO 用語説明



入出力特性グラフ

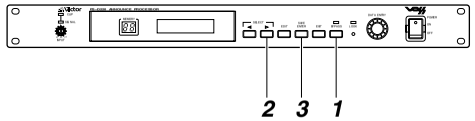
スレッショルドレベルとは？
各機能が動作を開始するレベルのことです。

アタックタイムとは？
スレショルドレベルより大きい信号が入力されてから、エキスパンダーやコンプレッサー機能が動作を開始するまでの時間のことです。

リリースタイムとは？
入力信号がスレッショルドレベルより小さくなり、エキスパンダーやコンプレッサー機能が動作を解除されるまでの時間のことです。

自動設定のしかた

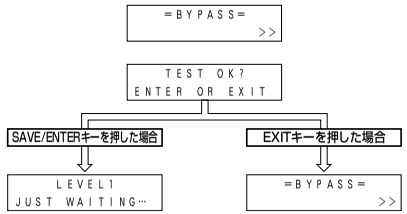
ハウリングが発生する場合や、エキスパンダーのゲインを設定するときに使います。



1. BYPASSキーを押すと、BYPASS LEDが点灯しバイパスの状態になります。

2. SELECT ▶ キーを押します。自動設定画面になります。

3. SAVE/ENTERキーを押すと、自動設定をはじめます。終了すると、バイパスの画面にもどります。EXITキーを押すと、バイパスの画面になります。



ご注意

自動設定を行う場合は、接続しているエフェクター機器(エキスパンダー、コンプレッサー、ハウリングサプレッサー等)をBYPASS(スルー)状態にして自動設定を行ってください。

MEMO 本機の自動設定は、本機のゲインを1dBづつ、最大12dBまで上げ、ハウリングの発生するレベルを検知し、そのレベルに対し3dBのマージンになるように、エキスパンダーのゲインを設定します。自動設定中にハウリングを発生することがありますが、ミキサー等のフェーダボリュームに手を触れないようにしてください。

PS-D320(ハウリングサプレッサー)と接続する場合のご注意

入力 ➡ PS-D320 ➡ PS-D220 ➡ 出力

① 接続は、PS-D320をPS-D220よりも前段に接続します。(図を参照) このときマイクを使って拡声できることを確認しておきます。

② PS-D320のPASSキーを押し、さらに本機のBYPASSキーを押し、ハウリングしない適切な位置にミキサー等のフェーダーボリュームを調節し、マーキングします。

③ 本機の自動設定を行います。設定中にハウリングが発生する場合がありますが、ハウリングが発生するレベルに対し、マージンをもたせるように動作設定されますので設定が終了するまでは、ミキサー等のフェーダボリュームに手を触れないようにしてください。

④ 本機の自動設定が終了した後、PS-D320の自動設定をおこないます。手順は、PS-D320の取扱説明書のハウリング自動抑圧設定を参照してください。

⑤ ミキサー等のフェーダーボリュームを手順②でマーキングした位置に移動します。

⑥ 本機のBYPASSキーを押し、バイパス設定を解除し、運用を開始します。

MEMO 機能説明

機　　能	主な働き又は使い方
エキスパンダー	入力信号が小さい時に音量を大きくします。
コンプレッサー	入力信号が過大な時に音量を抑え、スピーカー等の破損を防ぎます。
サイドチェーンイコライザー	音声が歪っぽく聞こえるときに、歪っぽい帯域に周波数を合わせ、ゲインを上げると先にコンプレッサーが動作し、音声の歪み感を抑えて拡声することができます。
ローパスフィルター	高音域のハウリングを低減させ、スピーカーを保護します。
ハイパスフィルター	マイクの吹かれ音や残響による不必要な低音を低減させ、スピーカーを保護します。
ノイズゲート	マイク音声より低いレベルの周囲の騒音を拡声しないようにするときに使います。
リミッター	過大信号による破損等のトラブルからスピーカーを保護します。
エキサイター	入力信号に倍音成分を加え明瞭な音質にします。
出力ゲイン	出力レベルを±15dBの範囲で調整することができます。
パラメトリックイコライザー	中心周波数、ゲイン、Q(鋭さ)を素子ごとに異なった値に設定できます。音質調整やハウリング抑制にお使いください。

セッティングの際のご注意

- **ミューティング動作について**
  電源を入れてから数秒間は、ミューティング動作のため音が出ませんが、故障ではありません。

- **設置場所について**
  ラック等に組込みを行う場合は、パワーアンプ等の発熱の大きな機器からできるだけ離して設置してください。やむをえず近くなる際は1H以上のスペースをとるようにしてください。

- **キャノンタイプコネクターの位相は②番ピンがホット!**
  本機のキャノンタイプコネクタの使い方は日本電子機械工業会規格です。したがって入力はメスコネクター(XLR-3-31相当)で、①番ピン=グランド、②番ピン=ホット、③番ピン=コールド(不平衡出力①番ピン=グランド、②番ピン=ホット、③番ピン=グランド)の接続となっています。また、出力はオスコネクター(XLR-3-32相当)ですが、不平衡出力にする場合は①番ピン=グランド、②番ピン=ホット、③番ピン=接続なしでご使用ください。

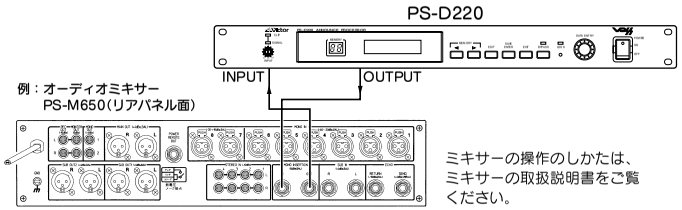
- **電源を入れる時は信号の流れに沿って前から後へ!**
  PAシステムの電源を入れる場合はパワーアンプは最後に。本機に接続した機器の投入時ノイズによるスピーカーの破損を防ぎます。電源を切る時は逆…。パワーアンプから電源を切ってください。

- **メモリーのバックアップについて**
  本機は電源を切った状態で約3カ月間メモリのデータを保持いたします。この期間を過ぎるとメモリー内容は消滅してしまいますので、長期間ご使用にならない場合は事前にメモなどに書き写しておいてください。

・動作時にトランシーバー等を50cm以内に近づけないようにしてください。
誤動作の原因となる場合があります。

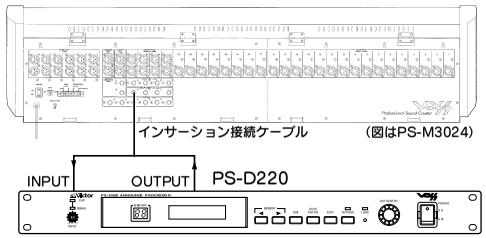
接続のしかた

● 接続例1



ミキサーの操作のしかたは、ミキサーの取扱説明書をご覧ください。

● 接続例2



※UNBAL（不平衡）入力の機器と接続する場合には、出力ゲイン機能（8ページ参照）を+6dBに設定してお使いください。
※－10dBsの定格入出力の機器に本機を接続するときには、リアパネルのLEVEL切換スイッチを－10dBs側に設定します。使用時にSIGNAL LED（緑）が時々点灯するように入力レベル調整ツマミを調節してください。

接続ケーブルについて

PA、レコーディング用接続ケーブルは使用目的に応じていろいろなケーブルが使われます。当社では次のようなケーブルを用意しております。

CN-5001
XLR-3-11C（相当品）
メス
10m
XLR-3-11C（相当品）
メス

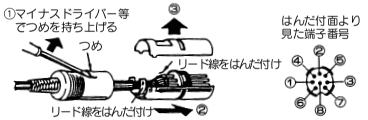
CN-5002
XLR-3-11C（相当品）
メス
10m
XLR-3-12C（相当品）
オス

CN-5003
6.3φ複式フォノプラグ
10m
XLR-3-12C（相当品）

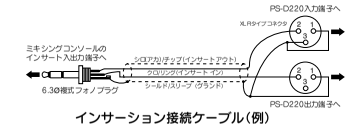
CN-5007
XLR-3-12C（相当品）
オス
0.5m
XLR-3-12C（相当品）
オス

● 8P DINコネクタの接続方法

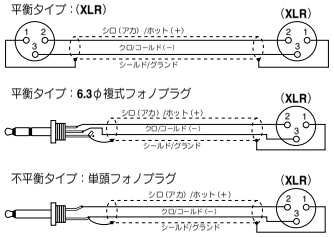
ビクター品番 QMC 0888-012（DIN Standard No.45326準拠）



接続ケーブルを制作するときは下図を参考にしてください。



インサーション接続ケーブル（例）



※本機の出力を不平衡入力の機器に接続するときは3番ピンをオープンにしてください。
（接続なし）

パターンコントロール端子について

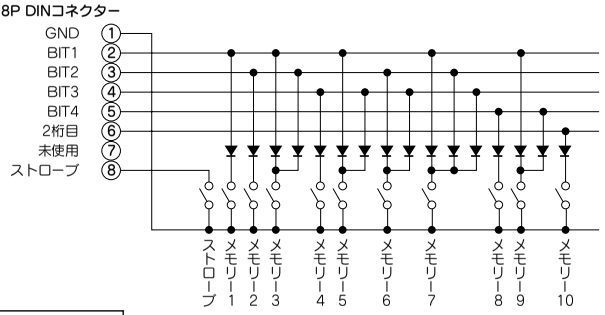
8PのDINコネクターで、パターンコントロールしたいとき、任意のメモリーナンバーを呼び出すための端子です。
1. 下表により、呼び出したいメモリーナンバーに相当するピン番号を、GND（1番ピン）に接続する。
2. ストローブ（8番ピン）をGNDに1秒間接続する。

ピン番号

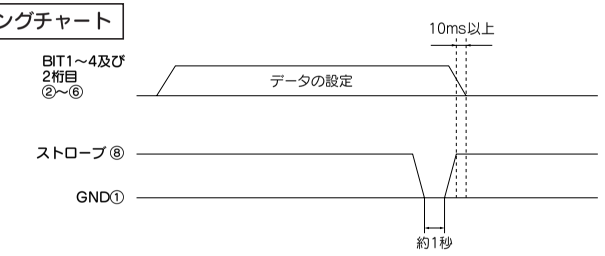
ピン番号 / メモリーNo.	6	5	4	3	2
1	OFF	OFF	OFF	OFF	ON
2	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
3	OFF	OFF	OFF	ON	ON
4	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
5	OFF	OFF	ON	OFF	ON
6	OFF	OFF	ON	ON	OFF
7	OFF	OFF	ON	ON	ON
8	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
9	OFF	ON	OFF	OFF	ON
10	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
11	ON	OFF	OFF	OFF	ON
12	ON	OFF	OFF	ON	OFF
13	ON	OFF	OFF	ON	ON
14	ON	OFF	ON	OFF	OFF
15	ON	OFF	ON	OFF	ON
16	ON	OFF	ON	ON	OFF

※ピン番号（2～5）は、BCDコード（BIT1～BIT4）に対応しており、BCDコードを発生するロータリー式デジタルスイッチを使用できます。

接続例



設定タイミングチャート



仕様 ※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

●基本仕様

入　　力	1回路、4dBs、10kΩ平衡 XLR-3-31相当（最大入力+18dBs）
出　　力	1回路、+4/-10dBs切換え XLR-3-32相当（最大出力+18dBs）
周波数特性	20Hz～20kHz、+0.5/-1.5dB
ダイナミックレンジ	110dB(TYPICAL)IHF-A
適合負荷インピーダンス	600Ω以上
全高周波歪率	0.03%以下（1kHz、+4dBs入力時）
A/Dコンバーター	24ビットデジタルフローティング方式
D/Aコンバーター	20ビットリニア
サンプリング周波数	48kHz
メモリー	16パターン（ユーザーメモリ） 4パターン（プリセットメモリ）
パターンコントロール	16パターン（DIN-8P）

エキスパンダー

スレッショルドレベル	OFF、-42dB～-22dB　1dBステップ
アタックタイム	0,1,2,4,8,16,32ms
リリースタイム	0,50,100,200,300,400,500,600, 700,800ms
ゲ　イ　ン	0～12dB　1dBステップ

コンプレッサー

スレッショルドレベル	OFF,-22dB～+4dB 1dBステップ
レ　シ　オ	2:1,4:1,6:1
アタックタイム	0,1,2,4,8,16,32ms
リリースタイム	0,50,100,200,400,800,2000ms

サイドチェーンイコライザー

中心周波数	40Hz～16kHz　1/6octステップ
ゲ　イ　ン	-15dB～+15dB　1dBステップ
Q	3,4.5,6,12

ローパスフィルター カットオフ周波数	THRU、1kHz～16kHz　1/6octステップ
ハイパスフィルター カットオフ周波数	THRU、32Hz～1kHz　1/6octステップ
ノイズゲートレベル	OFF、-75dB～-40dB　1dBステップ
リミッター スレッショルドレベル	OFF、+4dB～+18dB　1dBステップ

エキサイター

ハイパスフィルター カットオフ周波数	500Hz～16kHz　1/6octステップ
エンハンスレベル	0～100%　10%ステップ
ミックスレベル	0～100%　10%ステップ

出力ゲイン　-15dB～+15dB　1dBステップ

パラメトリックイコライザー

素　子　数	3素子
中心周波数	40Hz～16kHz　1/6octステップ
ゲ　イ　ン	-15dB～+15dB　1dBステップ
Q	3,4.5,6,12

●仕上げ及び外観

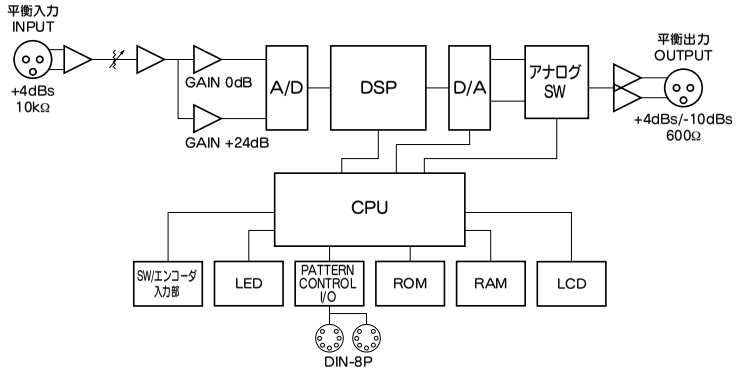
電　　源	AC100V、50/60Hz、11W
寸法質量	幅482×高さ44×奥行き234（フット含まず）、3.5kg
仕上げ（パネル面）	黒色半つや焼き付け塗装
付　属　品	フット×4個、スクリュー（M5）×4個

※0dBs=0.755Vrms

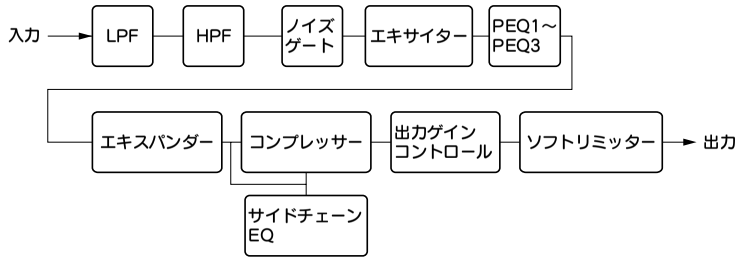
※本体内部を信号が通過するのに遅延時間（約4m sec）が生じます。

ブロックダイヤグラム

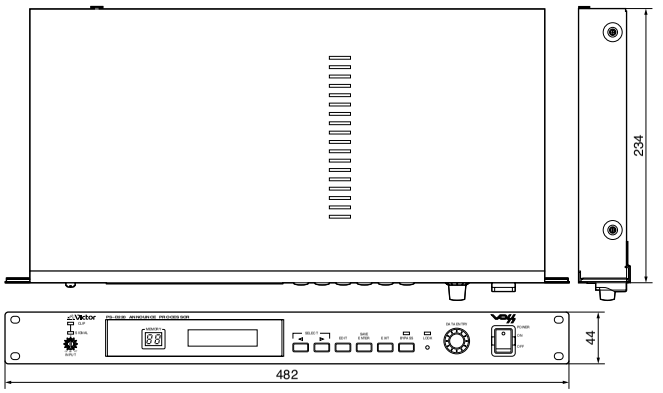
● ハードウェアーブロックダイヤグラム



● 信号処理ブロックダイヤグラム（DSP内部）



外観寸法図 （単位：mm）



主な仕様

故障かな？と思ったら

症　　状	原　　因	参照ページ
電源が入らない	電源コードがコンセントに確実にさしこまれていますか。	5ページ
キー入力ができない	オールロック状態になっていませんか。	11ページ
機能設定ができない	エディットロック状態になっていませんか。	11ページ
LCDディスプレイが暗い	LCDバックライト選択がAUTO側になっていませんか。 （AUTO側を選択している場合は、省エネルギーのため、一定時間後にバックライトを消灯します。点灯させるときには、キー入力又は、DATA ENTRYを回して下さい。）	9ページ
設定が実行しない	BYPASS状態になっていませんか。	11ページ
音がひずみっぽい	・パラメトリックイコライザーでゲインを高めにしていませんか。 ・リミッターのスレッショルドを低めに設定していませんか。 ・レベルメーターのCLIPが点灯していませんか。	8ページ 8ページ 4ページ
音がノイズっぽい	・レベルメーターのSIGNALが頻繁に点灯しますか。 ・トランシーバーの近くに設置していませんか。	4ページ 13ページ
音が出ない	・接続が確実にされていますか。 ・INPUTボリュームが-∞dBの位置になっていませんか。	14ページ 4ページ
パターンコントロールができない	・パターンコントロール端子の接続が確実にされていますか。	15ページ
ハウリングしやすい	・OUT GAINが高く設定されていませんか。 ・EXP GAINが高く設定されていませんか。	8ページ 8ページ および12ページ
音が切れる	・ノイズゲートのスレッショルドレベルが高く設定されていませんか。	8ページ

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。
「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保 証 期 間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

アナウンスプロセッサーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

異常のあるときは、お手数でももう一度、各部の接続、つまみの位置についてお調べください。
それでも具合が悪いときは、電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口に修理をご依頼ください。

保 証 期 間 中 は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	アナウンスプロセッサー
型　　名	PS-D220
お買い上げ日	年　　月　　日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お　名　前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店　名	☎（　　）　–

修 理 料 金 の 仕 組 み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

この商品を廃棄する場合は、法令や使用する地域の条例に従って適正に処理してください。
長時間ご使用にならない場合は、省エネルギーのため電源スイッチを切ってください。